

# 神津善行の Swing スイング・第2弾

## 戦後ジャズ リクエストコンサート

### 戦後の若者を熱狂させたジャズコンサート

終戦1ヶ月後には米軍放送が始まり、連日ジャズが茶の間に流れ出した。軍歌と童謡ばかり聞かされていた若者達が、ジャズに心を奪われていったのは自然の流れであったと思う。数ヶ月後には日本人のジャズ演奏家が次々と登場してきた。

天才演奏家としては鈴木章治・松本英彦氏などがコンボバンドを結成して大活躍をした。今回はその天才2バンドの演奏曲を中心にリクエストを受け演奏します。

#### 鈴木章治とリズムエース

オン・ザ・サニーサイド・オブ・ストーリー  
恋人よ我に帰れ  
シング・シング・シング  
スウィート・ジョージア・ブラウン  
鈴懸の径  
素敵あなた  
スワンダフル  
二人でお茶を  
ミスティー  
メモリーズ・オブ・ユー  
フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン

鈴木章治



#### 松本英彦とビッグ・フォー

A列車で行こう  
スター・ダスト  
セプテンバー・イン・ザ・レイン  
セントルイス・ブルース  
ドラム・ブギ  
ハーレム・ノクターン

松本英彦



企画・構成・司会 神津善行

2023年6月10日(土) 14:00開演(13:30開場) ノバホール (つくば市吾妻1-10-1)

全席指定(税込) 一般3,850円 TCFメンバーズ3,300円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※TCFメンバーズ割引は、当日券適用不可。

#### ■チケット発売日

ネット・電話予約: 4月15日(土)13:00~

窓口販売: 4月16日(日) 9:00~

※車いす席をご希望のお客様、介助が必要なお客様は、財団(029-856-7007)へご連絡ください。

※都合により、プログラム・出演者は変更となる場合がございます。

#### ■チケット取扱い

ノバホール 029-852-5881

つくばカピオ 029-851-2886

つくば文化振興財団 029-856-7007

財団HP [tcf.or.jp](http://tcf.or.jp)





## 鈴木章治氏と松本英彦氏と鈴木直樹君



戦争の終結から1ヶ月後、田村町(現・西新橋)のNHK本館2階から上の階に進駐軍放送局(WVTR)が設置された。小生は麻布中学2年生で、師事していた作曲家の付き人として比較的に関わりが深かった。自由に出入りすることが出来た。

進駐軍放送はGHQ(連合軍最高司令部)の方針により日本弱体化を目的とした様々な事が行われた。その中のひとつに『日本の若者に極力ジャズを聞かせて日本をジャズ化する』というのがあり、グレン・ミラー、ベニー・グッドマンなどのビッグバンドに混じって、アームストロング、トミー・ドーシーなどの小編成バンドの音楽も頻りに放送されるようになった。日本でも戦時中に布団に潜りジャズを聴く人もいたが、憲兵に見つかり2、3日留置されると言われて無理に聴く人はいなかった。

戦後これが自由になり、当時の若者が軍歌に飽きてジャズに興味を持ったのは自然な現象であったと思う。

これは占領政策の一環であって、日本の若者の思想を米国化するという大きな目的であったと言われたが、ジャズは確かに流行ったが、国民性を変えようとは出来なかったと私は思っている。

高校生になってジャズを教わりたくて、ジャズ・ユニオンを取り纏めていた作曲家の紙恭輔氏を訪ねた。彼はジャズプレイヤーの技術査定や接客されていたアーニー・パイル劇場(宝塚劇場)の楽団指揮などを行っていたので相談に行ったところ、バンドボーイのアルバイトを勧められ、紹介されたのがクラリネットの鈴木章治氏であった。彼とは同じ年齢ですぐに仲良くなり様々なことを教わり生涯の友人となった。

鈴木氏はスイングから一歩も前に出ようとしなかったが、対照的に新しい奏者が米国で頭角を表すと、すぐにその奏法等を追求したのが松本英彦氏であった。松本氏の芸術祭参加の演奏会には進んで司会を引き受けて彼からモダン・ジャズを学んだ。これは最後の最後まで続き、彼の臨終にまで立ち会う仲になり、この両者が小生のジャズの師と言える。

鈴木直樹君の父親は鈴木章治氏の弟である。だから直樹君は鈴木章治氏の甥にあたる。この一族は全て才能ある音楽家で、直樹君は章治氏と性格が似ている。多分自分のスタイルを生涯変えない音楽家になるのであろうと密かに私は思っている次第。

神津善行